



特定非営利活動法人
こもれび相談室の取り組み

こもれば相談室誕生の経緯

人生最期に向かう不安を抱えている方が多い。

深刻になる前に気軽に相談していただけるまちの相談室

安心して暮らせるまちづくり、多世代交流の拠点

法律・医療・介護の専門家で構成し、後見相談・健康不安・介護・相続の相談に対応

地域でみまもり、ささえあうつながりづくりをめざします

2016年9月～ 池田市・箕面市にて月1回相談会等開催

2017年3月～ SAC勉強会スタート(大阪府戦略事業室・大阪府池田保健所が中心となり、池田市・商工会議所・訪問看護ステーション・介護事業所がメンバー)

2017年5月 NPO法人こもれば相談室設立

2017年9月 池田市内での活動スタート

地域の高齢者の 居場所づくり

歌とレクリエーション
月2回
80名



こもれびおとな塾
毎週火曜日
15名



顔の見える
関係づくり



こもれびカフェ
毎月第4水曜日
60名(昨年度延べ人数)

ふくまる健康体操
毎週水曜日
30名



後見相談

元気なうちに大切なことは自分で決めたい

認知症や障がい等で自分での財産管理が困難になると

任意後見

家族のための信託

成年後見

相談の流れ

体操・セミナー参加者等
こもれびカフェで相談→面談→後見支援
施設管理者・地域包括支援センター・相談支援センター等
電話相談→面談→後見支援

相談件数 40件 法人後見 4件



こもれび見守りキーホルダー事業

池田市各所で
配布・登録会開催



見守りキーホルダー登録システムとは

あなたの緊急連絡先や医療情報などをご登録いただき、登録番号の入ったキーホルダーを受け取ります。キーホルダーを常に身につけていただくことで、外出先で救急搬送や保護された時でも、医療機関、警察などからの照会に対して、情報提供することができ、適切な対応を受けることができます。

協力機関：大阪府池田保健所・池田社会福祉協議会・池田市・大阪大学

1年かけて効果検証し、池田市へ事業主体を移行予定